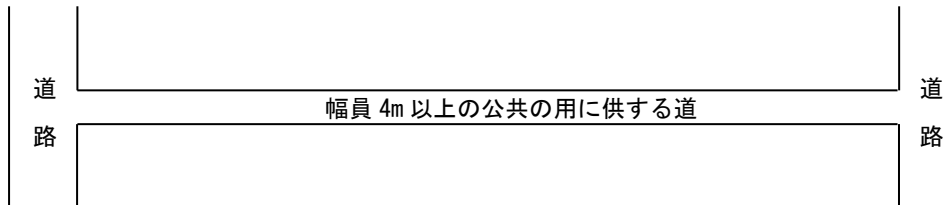


「建築基準法第 43 条第 2 項第 1 号認定及び同項第 2 号許可に関する基準」に係る参考図

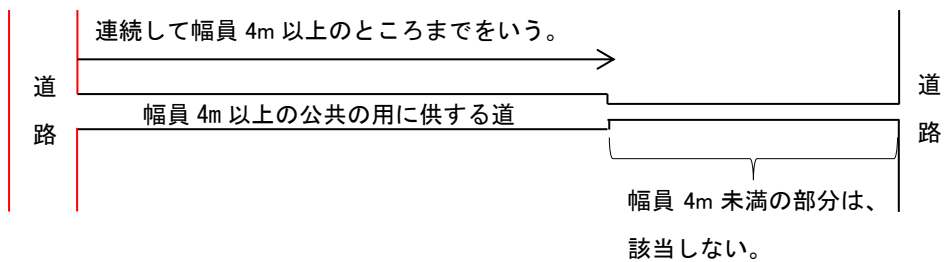
(平成 30 年 9 月 25 日 建築課長決裁)

(1) 幅員 4m 以上の公共の用に供する道で道路に通ずるもの（許可基準 (2)）とは、以下の図のような場合をいう。

■両端とも道路に接続している場合：

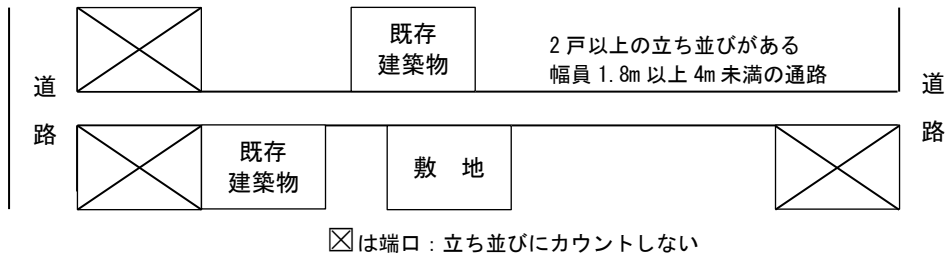


■片端のみ道路に接続している場合：

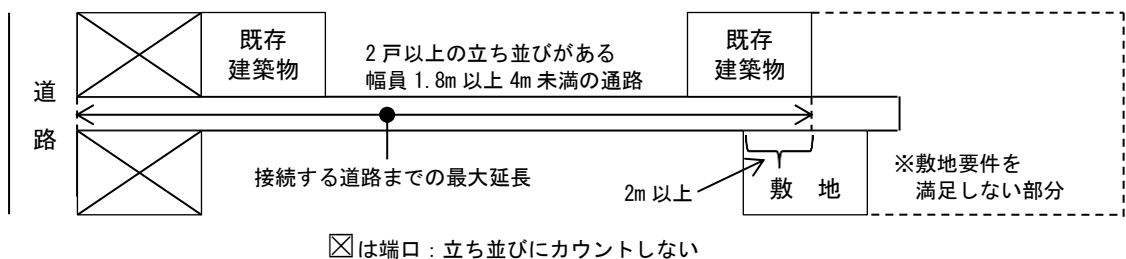


(2) 敷地が、複数の既存建築物が立ち並んでいる幅員 1.8m 以上の通路であって、道路に通ずるものに有効に接する場合（許可基準 (3)）とは、以下の図のような場合をいう。

■両端とも道路に接続している場合：



■片端のみ道路に接続している場合：



(3) 敷地が、既存建築物が一戸しか存在していない幅員 1.8m 以上の通路であって、道路に通ずるものに有効に接する場合（許可基準 (4)）とは、以下の図のような場合をいう。

